

【春の大会前半戦を終えて…】

大切なのは、結果をどう次に生かすか！

いよいよ五月になりました。何だかあつという間に五月になってしまった…そんな感じがします。南中生の皆さんは、どんな印象ですか？コロナ禍だった頃はちょうど休校が続いていた時です。その時と比べたら、仲間たちと一緒に学べること、授業も、部活動も頑張れる、こんな幸せなことはありませんね。春の大会も前半戦が終わりました。順調に結果を出すことができた部もあれば、悔しい結果になってしまったところもあります。いつも言うことですが、中学生の試合は何が起ころるか分からない。実力に差があるといわれている時も、時には思い通りの結果にならないこともある。でも、大切なのはその結果をどう次に生かすかです。悔し涙だけでは何も生まれません。次に何を成すべきか、チームの仲間たちと確認し、どうしたら次のステップに進めるのか、自分たちで考え、一歩前へと新たな取り組みを進めていく。何もしなければ、おそらく結果は変わらない。悔しい結果であれば、さらに新しい道を探してみる、勝ちに奢らず、真の目標に向かって努力を積み重ねていく。これこそが自分たちの目標を達

成する結果へとつながり、皆と求め続ける『Ryunan Spirit』であると思います。

今シーズンはまだ始まったばかり。どこまで自分たちの可能性を伸ばすことができるか、本当の勝負はこれからです。

『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』

これは松山清（肥後国平戸藩第九代藩主）の言葉です。野球の野村監督が好んで使われたことでも知られています。いつの時代もこの言葉の意味を正しく理解しておきたいものですね。ぜひ調べてみてください。



『ゴールデンウィーク後半…』

何か一冊、本が読めたらいいですねー！

明後日から後半四連休になります。部活や大会もあるし、授業もそろそろ本格的に難しくなるし…。中学生はなかなか忙しいですが、できれば一冊くらい本を読めるといいですね。名作と言われる作品は文庫本になって

いることも多い。図書室にもたくさんの面白そうな本があります。新品でなくてもいいし、きつとみなさんのお家にも、ご両親やご兄弟が読んだ本があると思います。勿論自分の好きな本がいいですが、時にはいろいろなジャンルに挑戦してみるのも良いと思います。面白そうなタイトルの本に触れてみるのも新たな出会いのチャンスかもしれませんね。本から学べることはとても多い。ぜひ挑戦してみてくださいね。

それでは、今年度最初のチャレンジ問題です。図書室にもヒントとなる本がたくさんありますよ。探してみてくださいね。

問①このところ暖かい日が続いていますが、日本の気候はどのようなものによってつくられていますか。たくさん要素がありますが、そのいくつかを結びつけて説明してください。

問②今、いろいろなところでツツジの花が満開ですが、場所によつてはまだ蕾の所もあります。どうしてそんな違いが起るのでしょうか。説明してください。

以上二問です。一年生には少し難しいかな。二・三年生は今まで習ったことでも説明できると思います。ぜひチャレンジしてみてください。

さい。校長室まで提出にきてね。みなさんの今年の決意（目標）と一緒に聞かせてくれたら嬉しいですよ。

みなさんのチャレンジ、待ってますー！

